目次

Act-D单剂	1
AP	2
BEP	3
Bev+Pembrolizumab維持療法(子宮頸癌)	4
Bev+weekly PTX	5
biweekly CPT-11 (B法)	6
biweekly TC	7
CAP	8
CDDP (A法)	9
CDDP+5FU(chemoradiation)	10
CDDP单剂	11
CP	13
CPT-11+CDGP	14
CPT+DXR	15
CPT-11+MMC(卵巢癌)	16
CPT+MMC(頸癌)	17
CPT-11+CDDP	18
CPT-11+CDGP(頸癌)	19
CPT-11+CDGP(頸癌)	20
DP	21
Durvalumab維持療法	22
EA	23

EMA/CO	24
GEM+CBDCA	25
GEM+CBDCA+Bev→Bev維持	26
MA	27
MEA	28
MEP	29
Monthly DC	30
Monthly DC+bev /bev維持	31
Monthly TC	32
Monthly TC+bev /bev維持	33
Monthly TC+bev	34
Monthlyドセタキセル	35
Monthly パクリタキセル単独	36
MIX単剤	37
ノギテカン+bev	38
Pembrolizumab+weekly CDDP(CCRT)	40
Pembrolizumab維持療法(子宮頸癌)	41
SIP	42
TC+Bev+Pembrolizumab(子宮頸癌)	43
TC+Durvalumab(子宮体癌)	44
TC+Pembrolizumab(子宮頸癌)	45
TC+Pembrolizumab(子宮体癌)	46
TP	47
TP+Bev	48

TP+Bev+Pembrolizumab(子宮頸癌)	49
TP+Pembrolizumab(子宮頸癌)	50
weekly CPT-11 単剤	51
weekly CPT-11 単剤	52
Weekly ネダプラチン (CCRT)	53
weekly TC(CBDCA一括投与)	54
weekly TC (CBDCA分割投与)	55
weekly ドセタキセル	56
weeklyパクリタキセル単独	57
アドリアマイシン単独	58
イフォスファミド+パクリタキセル	59
イホマイド単剤	60
エトポシド単剤	61
ジェムザール単剤	62
セミプリマブ	63
ドキシル+ベバシズマブ	64
ドキシル+オキサリプラチン併用	65
ドキシル+エルプラット+エンドキサン併用	66
ドキシル+カルボプラチン併用	67
ドキシル+ゲムシタビン併用	68
ドキシル+ハイカムチン (1)	69
ドキシル+ハイカムチン (2)	70
ドキシル+パクリタキセル併用	71
ドキシル単剤	72

ドセタキセル+ゲムシタビン併用療法	73
ドセタキセル+ゲムシタビン（分割投与法）	74
ネダプラチン単剤	75
ノギテカン+CDDP	76
ノギテカン+CDDP+bev	77
ハイカムチン単剤	78
ペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法	79

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Act-D単剤	絨毛性疾患	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ブドウ糖5%	500ml	点滴	250/H	day 1-5
②	アクチノマイシンD 生理食塩液	0.5mg/body 20mL	静注		day 1-5
③					
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日(2週間)					

その他(特記事項など)

アクチノマイシンDは、注射用水1.1mLで溶解し、側管から注射する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
AP	子宮体癌、卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
②	アロキシバグ デキサート注	1袋 9.9mg	点滴	100ml/H	day 1
③	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
④	ドキソルビシン 生食	45-60mg/m2 100ml	点滴	250ml/H	day 1
⑤	生食 シスプラチン	total 500ml 50mg/m2	点滴	250ml/H	day 1
⑥	マンニトール	300ml	点滴	250ml/H	day 1
⑦	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
1コースの期間 21日間			投与スケジュール及び総コース数 標準6コース、適宜延長		

その他(特記事項など)

1, ドキソルビシンは、総投与量が500mg/m2を超えない事とする。

2, 論文ではDXR 60, CDDP 50だが、その後のGOG184での推奨は、DXR 45, CDDP 50 q3w 6 courseである。(ガイドラインより)

3.必要に応じ、プレメディケーションにデカドロンを追加する。

4.day2.3にも輸液を1000mL程度行う。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
BEP	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液 セロトーン	100ml 1A	点滴	250ml/H	day1-5
②	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day1-5
③	生理食塩液 ブレオマイシン	50ml 20mg/m ² または 30mg/bodyの少ない方	点滴	250ml/H	day 2, 9, 16
④	生理食塩液 シスプラチン	total 500ml 20mg/m ²	点滴	250ml/H	day1-5
⑤	マンニトール	300ml	点滴	250ml/H	day1-5
⑥	生理食塩液 エトポシド	500ml 100mg/m ²	点滴	250ml/H	day1-5
⑦	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day1-5
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			3コース以上		

その他(特記事項など)

ブレオマイシンの総投与量は300mgとする。

Day 9,16は③で終了。

必要に応じ、プレメディケーションにデカドロンを追加する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Bev+Pembrolizumab維持療法(子宮頸癌)	遠隔転移を伴う進行・再発の子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	キイトルーダ	200mg/body	点滴	30分	day1
	生理食塩液100mL	1瓶			
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	ベバシズマブ	15mg/kg	点滴	30分	day1
	生理食塩液100mL	1瓶			
⑤	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・キイトルーダはインラインフィルターを用いて投与 ・CPSは問わない ・ベバシズマブは3回目以降であれば30分で投与する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Bev+weekly PTX	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg ガスター20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開	day 1, 8, 15, 22
②	グラセトロンパック3mg	1袋	点滴	30分	day 1, 8, 15, 22
③	パクリタキセル 生理食塩液	80mg/m ² 250mL	点滴	60分	day 1, 8, 15, 22
④	アバスチン 生理食塩液	10mg/kg 100mL	点滴	30~90分	day 1, 15
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ用	day 1, 8, 15, 22
1コースの期間 4週間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他（特記事項など） ・パクリタキセルは0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを使用。 ・アバスチンは初回投与时90分で施行し、忍容性に問題なければ、2回目60分、3回目以降30分に短縮可能。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
biweekly CPT-11(B法)	卵巣癌 子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg デカドロン6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1、15
②	トポテシン注 生理食塩液	150mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1、15
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day1、15
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
35日(5週間)			PDまで継続		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
biweekly TC	卵巣癌 子宮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☒ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	ルート確保 全開で	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	パクリタキセル 生理食塩液	100mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1
④	カルボプラチン 生理食塩液	300mg(AUC=2~4) 250mL	点滴	60分	day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 14日(2週間)			投与スケジュール及び総コース数 1投1休を1コースとして繰り返す PDまで継続		

その他(特記事項など)

- ・骨髄抑制の強い場合は、3週間間隔にするか、減量する。
- ・腹腔内注射と併用する場合もあるが、その際の腹腔内注射と点滴静注との間隔は2週間は空けること。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CAP	子宮体癌 卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ デキサート	1袋 9.9mg	点滴	100ml/H	day 1
②	生食 シスプラチン	total 500ml 50-75mg/m ²	点滴	250ml/H	day 1
③	マンニトール	300ml	点滴	250ml/H	day 1
④	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
⑤	ドキシソルビシン 5%ブドウ糖	30-50mg/m ² 30ml	静注	④投与中	day 1
⑥	生食 シクロホスファミド	100ml 500mg/m ²	点滴	250ml/H	day 1
⑦	マンニトール	300ml	点滴	250ml/H	day 1
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
⑨	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
1コースの期間 3-4週間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他(特記事項など)

1, ドキシソルビシンは、総投与量が500mg/m²を超えない事とする。

2, ウロミテキサン(メスナ)

通常, 成人にはメスナとして, シクロホスファミド1日量の40%相当量を1回量とし, 1日3回(シクロホスファミド投与時, 4時間後, 8時間後)30分かけて点滴静注する。

3, day2.3にも、輸液を1000ml程度行う。

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
CDDP (A法)	卵巣癌 子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day 1~5
②	グラニセトロンバッグ デカドロン1.65mg	1袋 2A	点滴	30分 250mL/hで	day 1~5
③	ランダ 生理食塩液	15~20mg/m ² 500mL (※)	点滴	2時間	day 1~5
④	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day 1~5
⑤	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day 1~5
⑥	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day 1~5

1コースの期間	投与スケジュール及び総コース数
28日(4週間)	PDまで継続

その他(特記事項など)

・ランダは合計500mLになるよう調製する。

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
CDDP + 5-Fu (chemoradiation)	子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生食 アロキシ0.75mg	100ml 1V	点滴	250/H	day1-4
②	ソルデム3A デカドロン6.6mg デカドロン1.65mg	500ml 1V 2A	点滴	250/H	day1
②'	ソルデム3A デカドロン6.6mg	500ml 1V	点滴	250/H	day2-4
③	マンニトール	300ml	点滴	250/H	day1
④	生食 ランダ	合計500ml 70mg/m ²	点滴	250/H	day1
⑤'	生食 5-Fu	1000ml 700mg/m ²	側管点滴	40/H	day 1-4
⑤	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day1
⑥	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			4コース		
その他(特記事項など) ・イメンドを用いる。 ・放射線療法と併用する。 ・尿量にあわせて適宜ラシックスを用いる。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CDDP単剤	卵巣癌、子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	999ml/H	day 1
②	プロイメンド注150mg 生理食塩液	1V 250mL	点滴	500ml/H	day 1
③	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
④	デキサート注 アロキシバッグ	9.9mg 1袋	点滴	250ml/H	day 1
⑤	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
⑥	生食 シスプラチン	total 500ml 75-100mg/m ²	点滴	250ml/H	day 1
⑦	マンニトール	300ml	点滴	250ml/H	day 1
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
⑨	ヴィーンD フロセミド注20mg	500ml 0.5A	点滴	250ml/H	day 1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
3-4週間毎			PDまで		
その他(特記事項など) ・必要に応じ、プレメディケーションにデカドロンを追加する。 ・day2.3にも輸液を1000mL程度行う。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
CDDP(chemoradiation)	子宮頸癌 外陰癌	■ 進行・再発癌 ■ 術前補助化学療法 ■ 術前化学療法（進行） □ 術後補助化学療法 ■ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
④	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
⑤	デキサート注6.6mg アロカリス点滴静注235mg パロノセトロン点滴静注 0.75mg	1A 1瓶 1袋	点滴	30分	day1
⑥	シスプラチン 生理食塩液500mL	40mg/m ² 1袋	点滴	2時間	day1
⑦	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
⑧	マンニトール	300mL	点滴	1時間	day1
⑨	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
⑩	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
1コースの期間 7日毎			投与スケジュール及び総コース数 放射線投与期間中、6コース程度。 必要に応じて延長する。		
その他(特記事項など) ・必要に応じて、プレメディケーションにデカドロンを追加する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CP	子宮体癌 卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバグ デキサート	1袋 9.9mg	点滴	100ml/H	day 1
②	生食 シスプラチン	total 500ml 60-75mg/m ²	点滴	250ml/H	day 1
③	マンニトール	300ml	点滴	250ml/H	day 1
④	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
⑤	生食 シクロフォスファミド	100mL 600mg/m ²	点滴	250ml/H	day 1
⑥	マンニトール	300ml	点滴	250ml/H	day 1
⑦	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
1コースの期間 4週間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) 1, ウロミテキサン(メスナ) 通常, 成人にはメスナとして, シクロホスファミド1日量の40%相当量を1回量とし, 1日3回(シクロホスファミド投与時, 4時間後, 8時間後)30分かけて点滴静注する。 2, day2.3にも, 輸液を1000ml程度行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CPT-11+CDGP	卵巣癌 (明細胞腺癌)	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg デキサート 生理食塩液	1A 6.6mg 100mL	点滴	30分	day1, 8
②	イリノテカン 生理食塩液	60mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1, 8
③	ネダプラチン 生理食塩液	70~80mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日(4週間)			4週間を1コースとして繰り返す 4~6コース実施		
その他(特記事項など) イリノテカンは2投2休。ネダプラチンは day1 のみ。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CPT+DXR	卵巣癌 子宮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1, 8, 15
②	イリノテカン 生理食塩液	50mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1, 8, 15
①	グラニセトンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day3
②	ソルデム3A	200mL	点滴	60分	day3
③	ドキシソルビシン 生理食塩液	40mg/m ² 50mL	点滴 (側管)	②の側管 15分	day3
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 緩解まで、4週を1コースとして2コース以上 PDまで		
その他(特記事項など) イリノテカンは3投1休。ドキシソルビシンは day3 のみ。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
CPT-11+MMC (卵巣癌)	卵巣癌 (明細胞腺癌・ 粘液性腺癌)	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン3mg デキサート	1袋 6.6mg	点滴	30分	day 1、15
②	イリノテカン 生理食塩液	120mg/m ² 500mL	点滴	90分	day 1、15
②	マイトマイシン 注射用水 生理食塩液	7mg/m ² 溶解用 合計50mL	点滴	全開で	day 1、15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ用	day 1、15
1コースの期間 42日(6週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他(特記事項など)

・イメンドを併用する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CPT+MMC(頸癌)	子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン3mg	1袋	点滴	30分	day1, 8, 15
②	イリノテカン 生理食塩液	100mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1, 8, 15
③	マイトマイシン 5%ブドウ糖	10mg/m ² 50mL	点滴	全開	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day1, 8, 15
⑤					
6					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日(4週間)			4週間を1クールとして繰り返す。 1～3コース実施		

その他(特記事項など)

イリノテカンは3投1休。マイトマイシンはday1のみ

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CPT-11 + CDDP	卵巣癌 子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	999ml/H	day 1
②	プロイメンド注150mg 生理食塩液	1V 250mL	点滴	500ml/H	day 1
③	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
④	デキサート注 アロキシバッグ	9.9mg 1V	点滴	250ml/H	day 1
⑤	生食 イリノテカン	500ml 60mg/m ²	点滴	340ml/H	day 1
⑥	生食 シスプラチン	total 500ml 60mg/m ²	点滴	250ml/H	day 1
⑦	マンニトール	300ml	点滴	250ml/H	day 1
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
⑨	ソルデム3A	500ml	点滴	250ml/H	day 1
①'	グラニセトロンバッグ デキサート注	1袋 6.6mg	点滴	200ml/H	day 8.15
②'	生食 カンプト	500ml 60mg/m ²	点滴	340ml/H	day 8.15
③'	生食	50mL	点滴	フラッシュ	day 8.15
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日(4週間)毎			PDまで		
その他(特記事項など) ・CDDPを含むday1は入院で実施 ・day2.3にも輸液を1000mL程度行う。					

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
CPT-11+CDGP(頸癌)	子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg デカドロン	1A 6.6mg	点滴	30分	day1, 8
②	トポテシン 生理食塩液	60mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1, 8
③	アクプラ 生理食塩液	80mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1
④	ヴィーンD	500mL	点滴	120分	day1
⑤	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			PDまで NACの場合は1~3コース実施		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CPT-11+CDGP(頸癌)	子宮頸癌	☐ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg デカドロン	1A 6.6mg	点滴	30分	day1, 8
②	トポテシン 生理食塩液	60mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1, 8
③	アクプラ 生理食塩液	80mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1
④	ヴィーンD	500mL	点滴	120分	day1
⑤	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			PDまで NACの場合は1~3コース実施		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DP	子宮体癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ注 デカドロン注 ポララミン注	1V 9.9mg 1A	点滴	200/H	day1
②	生理食塩液 ドセタキセル	500mL 70mg/m ²	点滴	250/H	day1
③	ソルデム3A	500mL	点滴	250/H	day1
④	生理食塩液 ランダ	total 500mL 60mg/m ²	点滴	250/H	day1
⑤	マンニトール	300mL	点滴	250/H	day1
⑥	ソルデム3A	500mL	点滴	250/H	day1
⑦	ソルデム3A	500mL	点滴	250/H	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		
その他(特記事項など) ・day2,3にも輸液を1000mL程度行う。 ・イメンドを併用する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Durvalumab維持療法	進行・再発の 子宮体癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	デュルバルマブ 生理食塩液100mL	1500 mg/body 1瓶	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			PDまで		
その他(特記事項など) ・デュルバルマブはインラインフィルター使用 ・体重30kg以下の場合、維持療法における1回投与量は20mg/kgとする ・ミスマッチ修復機能正常(pMMR)の進行・再発子宮体癌では維持療法のデュルバルマブとオラパリブ(600mg/日)を併用する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
EA	絨毛性疾患	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ	1袋	点滴	100/H	day 1
②	生食	250ml	点滴	250/H	day 1-4
③	コスメゲン 注射用水 生食	0. 5mg/body 1.1ml 20ml	静注	①の時 ワンショット	day 1-4
④	生食 エトポシド	250ml 100mg/body	点滴	250/H	day 1-4
⑤	生食	50ml	点滴	250/H	day 1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間			PDまで		

その他(特記事項など)

1. コスメゲンは、注射用水で溶解し、3分程度かけて側管から注射する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
EMA/CO	絨毛性疾患	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ	1袋	点滴	100/H	day 1
②	生理食塩液	250ml	点滴	250/H	
③	アクチノマイシンD 生理食塩液	0.5mg 20mL	側管から静注		day 1
④	生理食塩液 エトポシド	250ml 100mg/m ²	点滴	250/H	day 1
⑤	ブドウ糖 メソトレキセート	500ml 300mg/m ²	点滴	40/H	day 1
⑥	生理食塩液	50ml	点滴	250/H	day 1
①	生理食塩液	250ml	点滴	250/H	day 2
②	アクチノマイシンD 生理食塩液	0.5mg 20mL	側管から静注		day 2
③	生理食塩液 エトポシド	250ml 100mg/m ²	点滴	250/H	day 2
④	生理食塩液	50ml	点滴	250/H	day 2
⑤	ロイコボリン	15mg	経口	12時間毎4回	day 2
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	100/H	day 8
②	生理食塩液 ピンクリスチン	20ml 1.0mg/m ² (MAX2mg/body)	側管から静注		day 8
③	生理食塩液 シクロホスファミド	250ml 600mg/m ²	点滴	250/H	day 8
④	生理食塩液	50ml	点滴	250/H	day 8
⑤	ウロミテキサン注 生理食塩液	400mg 100mL	点滴	200/H、1日3回	day 8
1コースの期間 14日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他(特記事項など)

1, アクチノマイシンDは、注射用水1.1mLで溶解し、側管から注射する。

2, ウロミテキサン(メスナ)

通常、成人にはメスナとして、シクロホスファミド1日量の40%相当量を1回量とし、1日3回(シクロホスファミド投与時、4時間後、8時間後)30分かけて点滴静注する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GEM+CBDC A	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ゲラセトロンパ ック 3mg デカドロン	1V 6.6mg	点滴	30分	day1, 8
②	ジェムザール注 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1, 8
③	カルボプラチン 生理食塩液	AUC= 4 250mL	点滴	60分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1, 8
⑤					
1 コースの期間 21日 (3週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他 (特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GEM+CB DCA+B e v →Bev維持	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラネトロンパック 3mg デキサート	1V 6.6mg	点滴	30分	day1, 8
②	ゲムシタビン 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1, 8
③	カルボプラチン 生理食塩液	AUC= 4 250mL	点滴	60分	day1
④	ベバシズマブ 生理食塩液	15mg/kg 100mL	点滴	90-30分	day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1, 8
1コースの期間 21日（3週間）			投与スケジュール及び総コース数 6コース（最大10コース）、以後PDまでBev維持		
その他（特記事項など） ・ベバシズマブは初回投与時90分で施行し、忍容性に問題なければ、2回目60分、3回目以降30分に短縮可能。 ・PDまではベバシズマブのみ維持療法として単剤施行する場合あり。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
MA	絨毛性疾患	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ	1袋	点滴	100/H	day 1
②	生食	250ml	点滴	250/H	day 1-4
③	コスメゲン 注射用水 生理食塩液	0. 5mg/body 1.1ml 20ml	①の時に静注	ワンショット	day 1-4
①	メソトレキセート	0.4mg/kg	筋注		day 1-4

1コースの期間	投与スケジュール及び総コース数
14日間	PDまで

その他(特記事項など)
 1, コスメゲンは、注射用水で溶解し、3分程度かけて側管から注射する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
MEA	絨毛性疾患	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ	1袋	点滴	100/H	day 1
②	生理食塩液	250ml	点滴	250/H	day 1
③	アクチノマイシンD	0.5mg	側管から静注		day 1
④	生理食塩液 エトポシド	250ml 100mg/body	点滴	250/H	day 1
⑤	ソルデム3A	200ml	点滴	250/H	day 1
⑥	ブドウ糖5% メソトレキセート	20ml 150mg/body	側管から静注		day 1
⑦	ブドウ糖5% メソトレキセート	500ml 300mg/body	点滴	125/H	day 1
⑧	生理食塩液	50ml	点滴	125/H	day 1
①	生理食塩液	250ml	点滴	250/H	day 2-5
②	アクチノマイシンD	0.5mg	側管から静注		day 2-5
③	生理食塩液 エトポシド	250ml 100mg	点滴	250/H	day 2-5
④	生理食塩液	50ml	点滴	250/H	day 2-5
⑤	ロイコボリン	15mg	筋注	12時間毎3回	day 2-3
1コースの期間 14-21日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) 1, アクチノマイシンDは、注射用水1.1mLで溶解し、側管から注射する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
MEP	子宮頸癌 卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day1, 3, 5
②	アロキシバグ デキサート	1袋 6.6mg	点滴	100/H	day1
③	生食 シスプラチン	total 500ml 50mg/m ²	点滴	250/H	day1
④	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day 1
⑤	注射用蒸留水 マイトマイシン	30ml 10mg/m ²	③の時に 静注	/	day1
⑥	生食 エトポシド	500ml 100mg/m ²	点滴	250/H	day 1, 3, 5
⑦	マンニトール	300ml	点滴	250/H	day1
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間			PDまで		
その他(特記事項など) ・必要に応じ、プレメディケーションにデカドロンを追加する。 ・day2.3にも輸液を1000mL程度行う。					

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
Monthly DC	卵巣癌 子宮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	グラニセトロンバッグ3mg デキサート注6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
2	ドセタキセル注 生理食塩液	70mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1
3	カルボプラチン注 生理食塩液	AUC=6 250mL	点滴	60分	day1
4					
5					
6					
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 1投2休を1コースとして繰り返す adjuvantには6コース。進行再発癌には効果検証後PDまで継続		

その他(特記事項など)

- ・ドセタキセルの溶解には原則添付溶解液(アルコール含有)を用いて行う。
アルコール過敏症の患者については、患者登録時にその旨を必ず記載すること。
⇒生理食塩液溶解法を用いて作成する。
- ・3週間で好中球の回復等見られない場合については適宜休薬スケジュールを延長して実施する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Monthly DC+bev /bev維持	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg/2mL ガスター20mg グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1V 1A 1袋	点滴	30分	day1
③	ドセタキセル 生理食塩液	60mg/m2 250mL	点滴	60分	day1
④	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=6 250mL	点滴	60分	day1
⑤	アバスチン 生理食塩液	15mg/kg 合計100mL	点滴	30~90分	day1
⑥	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他(特記事項など)

- ・アバスチンは初回投与時90分、初回投与で問題なければ2回目60分、2回目投与で問題なければそれ以降の投与は30分に短縮可能である。
- ・デキサートは初回投与時20mgとし、2回目以降は患者の状態に応じて減量可能である。
- ・3週間で好中球の回復が見られない等の場合については適宜休薬を延長して実施する。
- ・MonthlyTC+bevレジメン終了後はbev単独投与(⑤、⑥)を継続する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Monthly TC	卵巣癌 子宮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	3V 1A 1A 50mL	点滴	ルート確保 全開で点滴	day1
②	グラニセロンパック3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	パクリタキセル注 生理食塩液	175mg/m ² 500mL	点滴	120～ 180分	day1
④	カルボプラチン注 生理食塩液	AUC=6 250mL	点滴	60分	day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 1投2休を1コースとして繰り返す adjuvantには6コース。進行再発癌には効果検証後PDまで継続		
その他(特記事項など) ・デキサートは初回投与時19.8mgとし、問題がなければ患者の状態に応じ2回目以降減量する。(目安としては1回8mg) ・3週間で好中球の回復等見られない場合については適宜休薬スケジュールを延長して実施する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Monthly TC+bev /bev維持	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg/2mL ガスター20mg 生理食塩液	3V 1A 50mL	点滴	ルート確保 全開で点滴	day1
②	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1袋	点滴	30分	day1
③	パクリタキセル 生理食塩液	175mg/m2 500mL	点滴	180分	day1
④	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=6 250mL	点滴	60分	day1
⑤	アバスチン 生理食塩液	15mg/kg 合計100mL	点滴	30~90分	day1
⑥	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他(特記事項など)

- ・アバスチンは初回投与時90分、初回投与で問題なければ2回目60分、2回目投与で問題なければそれ以降の投与は30分に短縮可能である。
- ・デキサートは初回投与時20mgとし、2回目以降は患者の状態に応じて減量可能である。
- ・3週間で好中球の回復が見られない等の場合については適宜休薬を延長して実施する。
- ・MonthlyTC+bevレジメン終了後はbev単独投与(⑤、⑥)を継続する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Monthly TC + bev	子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注 ポララミン注 ガスター注 生理食塩液	20mg 5mg 20mg 50mL	点滴	999mL/h	day1
②	グラニセトロンバッグ	3mg	点滴	200mL/h	day1
③	パクリタキセル注 生理食塩液	175mg/m ² 500mL	点滴	167mL/h	day1
④	カルボプラチン注 生理食塩液	AUC=5 250mL	点滴	250mL/h	day1
⑤	ベバシズマブ注 生理食塩液	15mg/kg 100mL	点滴	66mL/h	day1
⑥	生理食塩液	50mL	点滴	66mL/h	day1
1コースの期間 21日間 (3週間)			投与スケジュール及び総コース数 6-8コース、6-8コース施行後bev維持		
その他 (特記事項など) ・ベバシズマブは初回90分、2回目60分、3回目以降は30分に投与時間短縮可。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Monthlyドセタキセル	卵巣癌 子宮体癌 外陰部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	グラニセトロンバッグ3mg デキサート注6.6mg ポララミン注5mg	1袋 1V 1A	点滴	30分	day1
2	ドセタキセル 生理食塩液	70mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1
3	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
4					
5					
6					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			1投2休を1コース、PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Monthly パクリタキセル単独	卵巣癌 子宮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	3V 1A 1A 50mL	点滴	ルート確保後 全開で投与	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	パクリタキセル 生理食塩液	120mg/m ² 500mL	点滴	180分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 1投3休を1コースとして繰り返す PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
MTX単剤	絨毛性疾患	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	メソトレキセート 注射用水	0.4mg/kg 2mL	筋注		day 1-5
	または				
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルート用 残液フラッ シュ	day 1-5
②	メソトレキセート 生理食塩液	0.4mg/kg 50mL	点滴	全開で	day 1-5
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
12-14 days			PDまで		
その他(特記事項など) メソトレキセートは、筋注又は静注で使用する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ノギテカン+bev	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサト注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴	30分	day1
②	ノギテカン 生理食塩液	1.25mg/m ² 100ml	点滴	30分	day1
③	アバステン 生理食塩液	15mg/kg 100mL	点滴	30-90分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑤	デキサト注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴	30分	day2-5
⑥	ノギテカン 生理食塩液	1.25mg/m ² 100ml	点滴	30分	day2-5
⑦	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day2-5
1コースの期間 21日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・ベバシズマブ初回は、90分投与、2回目は60分、3回目以降は30分投与。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
TC+Pembrolizumab (子宮体癌)	進行・再発の 子宮体癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	デキサート注6.6mg ファモチジン注射液20mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	3瓶 1A 1A 1瓶	点滴	全開	day1
⑤	パロノセトロン点滴静注0.75mg	1袋	点滴	30分	day1
⑥	パクリタキセル 生理食塩液500mL	175mg/m ² 1袋	点滴	180分	day1
⑦	カルボプラチン 生理食塩液250mL	target AUC 6 1袋	点滴	60分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	5分	day1
1コースの期間 21日 (ペムブロリズマブ維持療法は21日もしくは42日)			投与スケジュール及び総コース数 6コース (最大10コースまで)		
その他(特記事項など) ・ペムブロリズマブはインラインフィルター使用 ・規定コース実施後、ペムブロリズマブ単剤(200mg or 400mg/body)を3週もしくは6週間隔で維持投与する(最大2年)					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab+weekly CDDP(CCRT)	局所進行 子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩液100mL	200mg 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
⑤	デキサート注6.6mg アロカリス点滴静注235mg パロノセトロン点滴静注 0.75mg	1A 1瓶 1袋	点滴	30分	day1
⑥	シスプラチン 生理食塩液500mL	40mg/m ² 1袋	点滴	2時間	day1
⑦	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
⑧	マンニトール	300mL	点滴	1時間	day1
⑨	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
⑩	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
1コースの期間 ペムブロリズマブは21日間 シスプラチンは7日毎			投与スケジュール及び総コース数 放射線投与期間中 シスプラチンは5～6コース程度 ペムブロリズマブは最長24ヶ月		
その他(特記事項など) ・ペムブロリズマブはインラインフィルター使用 ・day2-4:デカドロン ・必要に応じてday2以降に輸液1000～1500mL程度投与 ・放射線治療終了後はペムブロリズマブを3週間毎(200mg)or6週間毎(400mg)で維持療法を行う					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab維持療法(子宮頸癌)	遠隔転移を伴う進行・再発の子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	キイトルーダ	200mg/body	点滴	30分	day1
	生理食塩液100mL	1瓶			
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・キイトルーダはインラインフィルターを用いて投与 ・CPSは問わない					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
SIP	子宮頸癌 卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ペプレオ 生食	5mg/body 5ml	筋注		day1-6
②	ソルデム3A メイロン7% ソル・メドロール	200ml 20ml 125mg	点滴	250/H	day 1-5
③	グラニセトロンバッグ3mg	100ml	点滴	250/H	day 1-5
④	生食 ネダプラチン	250ml 80mg/m ²	点滴	250/H	day1
⑤	生食 イホマイド	500ml 1500mg/body	点滴	250/H	day 1-5
⑦	ソルデム3A フロセミド メイロン7%	500ml 10mg 1A	点滴	250/H	day 1-5
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day 1-5
⑨	マンニトール	300ml	点滴	250/H	day 1-5
⑩	ソルデム3A	200ml	点滴	250/H	day 1-5

1コースの期間

28日間

投与スケジュール及び総コース数

PDまで

その他(特記事項など)

1, ウロミテキサン(メスナ)

通常, 成人にはメスナとして, イフォマイド1日量の20%相当量を1回量とし, 1日3回(イフォマイド投与時, 4時間後, 8時間後)30分かけて点滴静注する。

2, ペプレオ: 最大総投与量150mgまで

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
TC+Bev+Pembrolizumab (子宮頸癌)	遠隔転移を伴う進行・再発の子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	キイトルーダ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	ファモチジン注20mg デキサート注6.6mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	1A 3瓶 1A 1瓶	点滴	全開	day1
⑤	グラニセトロン3mg	1袋	点滴	30分	day1
⑥	パクリタキセル 生理食塩液500mL	175mg/m ² 1袋	点滴	180分	day1
⑨	カルボプラチン 生理食塩液250mL	AUC 5 1袋	点滴	60分	day1
⑨	ベバシズマブ 生理食塩液100mL	15mg/kg 1瓶	点滴	90分	day1
⑪	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・キイトルーダはインラインフィルターを用いて投与 ・CPSは問わない ・カルボプラチンは合計250mLになるように調製する ・ベバシズマブは初回90分、2回目60分、3回目以降30分で投与する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
TC+Durvalumab (子宮体癌)	進行・再発の 子宮体癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	デュルバルマブ 生理食塩液100mL	1120mg/body 1瓶	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	デキサート注6.6mg ファモチジン注射液20mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	3瓶 1A 1A 1瓶	点滴	全開	day1
⑤	パロノセトロン点滴静注0.75mg	1袋	点滴	30分	day1
⑥	パクリタキセル 生理食塩液500mL	175mg/m ² 1袋	点滴	180分	day1
⑦	カルボプラチン 生理食塩液250mL	target AUC 6 1袋	点滴	60分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	5分	day1
1コースの期間 21日 (デュルバルマブ維持療法は28日)			投与スケジュール及び総コース数 6コースまで		
その他(特記事項など) ・デュルバルマブはインラインフィルター使用 ・6コース実施後、デュルバルマブ単剤(1500mg/body)を4週間間隔で維持投与する ・体重30kg以下の場合、維持療法における1回投与量は20mg/kgとする ・ミスマッチ修復機能正常(pMMR)の進行・再発子宮体癌では維持療法のデュルバルマブとオラパリブ(600mg/日)を併用する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
TC+Pembrolizumab (子宮頸癌)	遠隔転移を伴う進行・再発の子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	キイトルーダ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	ファモチジン注20mg デキサート注6.6mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	1A 3瓶 1A 1瓶	点滴	全開	day1
⑤	グラニセトロン3mg	1袋	点滴	30分	day1
⑥	パクリタキセル 生理食塩液500mL	175mg/m ² 1袋	点滴	180分	day1
⑨	カルボプラチン 生理食塩液250mL	AUC 5 1袋	点滴	60分	day1
⑪	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・キイトルーダはインラインフィルターを用いて投与 ・CPSIは問わない ・カルボプラチンは合計250mLになるように調製する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
TC+Pembrolizumab (子宮体癌)	進行・再発の 子宮体癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	デキサート注6.6mg ファモチジン注射液20mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	3瓶 1A 1A 1瓶	点滴	全開	day1
⑤	パロノセトロン点滴静注0.75mg	1袋	点滴	30分	day1
⑥	パクリタキセル 生理食塩液500mL	175mg/m ² 1袋	点滴	180分	day1
⑦	カルボプラチン 生理食塩液250mL	target AUC 6 1袋	点滴	60分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	5分	day1
1コースの期間 21日 (ペムブロリズマブ維持療法は21日もしくは42日)			投与スケジュール及び総コース数 6コース (最大10コースまで)		
その他(特記事項など) ・ペムブロリズマブはインラインフィルター使用 ・規定コース実施後、ペムブロリズマブ単剤(200mg or 400mg/body)を3週もしくは6週間隔で維持投与する(最大2年)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
TP	卵巣癌 子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液 ガスター20mg ポララミン注5mg デキサート注6.6mg	50ml 1A 1A 3V	点滴	全開で	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	200mL/H	day1
③	生理食塩液 パクリタキセル	500ml 175mg/m ²	点滴	150mL/H	day1
④	ソルデム3A	500ml	点滴	250mL/H	day1
⑤	生理食塩液 シスプラチン	total 500ml 75mg/m ²	点滴	250mL/H	day1
⑥	マンニトール	300ml	点滴	250/H	day1
⑦	ソルデム3A	500ml	点滴	250mL/H	day1
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250mL/H	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

その他(特記事項など)
 day2.3にも輸液を1000mL程度行う。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
TP+Bev	子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ ガスター20mg ポラミン注5mg デキサート注6.6mg	50ml 1A 1A 3A	点滴	100/H	day1
②	生理食塩液 ベバシズマブ	100mL 15mg/kg	点滴	30-90分	day1
③	生理食塩液 パクリタキセル	500ml 175mg/m ²	点滴	150/H	day1
④	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day1
⑤	マンニトール	300ml	点滴	300/H	day1
⑥	生理食塩液 シスプラチン	total 500ml 50mg/m ²	点滴	250/H	day1
⑦	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day1
⑧	ソルデム3A	500ml	点滴	250/H	day1

1コースの期間

投与スケジュール及び総コース数

PDまで

その他(特記事項など)

day2.3にも輸液を1000mL程度行う。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
TP+Bev+Pembrolizumab (子宮頸癌)	遠隔転移を伴う進行・再発の子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	キイトルーダ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	ファモチジン注20mg デキサート注6.6mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	1A 3瓶 1A 1瓶	点滴	全開	day1
⑤	パロノセトロンバッグ0.75mg	1袋	点滴	30分	day1
⑥	パクリタキセル 生理食塩液500mL	175mg/m ² 1袋	点滴	180分	day1
⑦	ソルデム3A 500mL	1袋	点滴	120分	day1
⑧	20%マンニトール 300mL	1袋	点滴	60分	day1
⑨	シスプラチン 生理食塩液500mL	50mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑩	ベバシズマブ 生理食塩液100mL	15mg/kg 1瓶	点滴	90分	day1
⑪	ソルデム3A 500mL	1袋	点滴	120分	day1
⑫	ソルデム3A 500mL	1袋	点滴	120分	day1
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他(特記事項など)

- ・キイトルーダはインラインフィルターを用いて投与
- ・CPSは問わない
- ・シスプラチンは合計500mLになるように調製する
- ・ベバシズマブは初回90分、2回目60分、3回目以降30分で投与

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
TP+Pembrolizumab (子宮頸癌)	遠隔転移を伴う進行・再発の子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	キイトルーダ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	ファモチジン注20mg デキサート注6.6mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	1A 3瓶 1A 1瓶	点滴	全開	day1
⑤	パロノセトロンバッグ0.75mg	1袋	点滴	30分	day1
⑥	パクリタキセル 生理食塩液500mL	175mg/m ² 1袋	点滴	180分	day1
⑦	ソルデム3A 500mL	1袋	点滴	120分	day1
⑧	20%マンニトール 300mL	1袋	点滴	60分	day1
⑨	シスプラチン 生理食塩液500mL	50mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑩	ソルデム3A 500mL	1袋	点滴	120分	day1
⑪	ソルデム3A 500mL	1袋	点滴	120分	day1
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他(特記事項など)

- ・キイトルーダはインラインフィルターを用いて投与
- ・CPSは問わない
- ・シスプラチンは合計500mLになるように調製する

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weekly CPT-11 単剤	卵巣癌 子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1、8、15
②	イリノテカン 生理食塩液	100mg/m ² 250mL	点滴	90分	day1、8、15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1、8、15
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 3投1休を1コースとして繰り返す PDまで継続		

その他(特記事項など)

・患者の状態に応じ、必要時にはデキサート注をグラニセトロンバッグに追加して投与する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weekly CPT-11 単剤	卵巣癌 子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☒ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1, 8, 15又は day1, 8, 15, 22
②	イリノテカン注 生理食塩液	100mg/m ² 250mL	点滴	90分	day1, 8, 15又は day1, 8, 15, 22
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1, 8, 15又は day1, 8, 15, 22
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日(4週間)又は35日(5週間)			3投1休(必要時4投1休)を1コースとして繰り返す。		
その他(特記事項など) ・患者の状態に応じ、必要時にはデキサート注をグラニセロンバッグに追加して投与する。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

申請診療科	産科婦人科
記入医師名	城 道久
診療科長名	井篁 一彦

申請日	平成28年3月16日
登録(改訂)日	
登録番号	産婦 - 58

レジメン名称	対象がん種	適応分類
weekly ネダプラチン (CCRT)	子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前化学療法 ☒ 術後化学療法 ☐ 大量化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
	グラニセトロン3mg デカドロン6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day 1
	ネダプラチン 生理食塩液	30mg/m ² 500mL	点滴	90分	day 1
	ヴィーンD	500mL	点滴	120分	day 1
	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day 1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日(4週間)			PDまで		

その他(特記事項など)

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weekly TC (CBDCA一括投与)	卵巣癌 子宮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	ルート確保 全開で	day1、8、15
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1、8、15
③	パクリタキセル 生理食塩液	80mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1、8、15
④	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=6 250mL	点滴	60分	day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1、8、15
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 3投1休を1コースとして繰り返す(カルボプラチンはday1のみ) adjuvantは6コース(その後病状により継続可能性あり) 進行・再発癌にはPDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weekly TC (CBDCA分割投与)	卵巣癌 子宮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	ルート確保 全開で	day1、8、15
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1、8、15
③	パクリタキセル 生理食塩液	80mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1、8、15
④	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=2 100mL	点滴	30分	day1、8、15
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1、8、15
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 3投1休を1コースとして繰り返す adjuvantは6コース(その後病状により継続可能性あり)、進行・再発癌にはPDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Weekly ドセタキセル	卵巣癌 子宮体癌 外陰部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	グラニセトロンバッグ3mg デカドロン注8mg	1袋 1V	点滴	30分	day1, 8, 15
2	ドセタキセル 生理食塩液	35mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1, 8, 15
3	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1, 8, 15
4					
5					
6					
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 3投1休を1コース、PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weeklyパクリタキセル単独	卵巣癌 子宮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	ルート確保 全開で	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	パクリタキセル 生理食塩液	80mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day1
⑤					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
7日(1週間)			PDまで継続		
その他(特記事項など)					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
アドリアマイシン単独	子宮平滑筋肉腫	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mgバッグ デキサート6.6mg	1バッグ 1V	点滴	30分	day 1
②	ドキソルビシン 生理食塩液	60mg/m ² 100mL	点滴	30分	day 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	15分	day 1
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで ドキソルビシン総投与量500mg/m ² 以下		
その他(特記事項など) ドキシル単独との混同をさけるため、レジメン名称をアドリアマイシン単剤とした					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
イフォスファミド+パクリタキセル	子宮癌肉腫	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前補助化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg/2mL ガスター注射液20mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	3V 1A 1V 1V	点滴	999mL/h	day1
②	グラニセトロン	1袋	点滴	200mL/h	day1
②'	グラニセトロン デキサート6.6mg/2mL	1袋 1V	点滴	200mL/h	day2-3
③	パクリタキセル 生理食塩液500mL	$135\text{mg}/\text{m}^2$ 1袋	点滴	167mL/h	day1
④	ソルデム3A 200mL メイロン静注7% 20mL	1V 1A	点滴	250mL/h	day1-3
⑤	イフォスファミド 生理食塩液500mL	$1.6\text{g}/\text{m}^2$ 1袋	点滴	250mL/h	day1-3
⑥	20% マンニトール 300mL	1瓶	点滴	250mL/h	day1-3
⑦	ソルデム3A 500mL フロセミド注20mg	1V 1A	点滴	250mL/h	day1-3
⑧	ソルデム3A 200mL メイロン静注7% 20mL	1V 1A	点滴	250mL/h	day1-3
⑨	生理食塩液100mL ウロミテキサン注400mg	1瓶 400mg/body	点滴	200mL/h	day1-3 イフォスファミド開始時、開始4時間後、開始8時間後
1コースの期間 21日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他(特記事項など)

・イフォスファミドは、放射線療法が先行されている場合は、 $1.2\text{g}/\text{m}^2$ より開始、血液毒性等で減量する場合は $0.4\text{mg}/\text{m}^2$ ずつ減量。

・パクリタキセルは血液毒性等で減量する場合は、 $100\text{mg}/\text{m}^2$ に減量。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
イホマイド単剤	子宮頸癌 子宮癌肉腫	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ	100mL	点滴	250/H	day1-5
②	ソルデム3A メイロン7%	200mL 20mL	点滴	250/H	day1-5
③	生理食塩液 イホマイド	500mL 1.5g/m ²	点滴	250/H	day1-5
④	ソルデム3A メイロン7%	500mL 20mL	点滴	250/H	day1-5
⑤	マンニトール	300mL	点滴	250/H	day1-5
⑥	ソルデム3A ラシックス注	500mL 10mg	点滴	250/H	day1-5
⑦	ソルデム3A メイロン7%	500mL 20mL	点滴	250/H	day1-5
⑧	生食 ウロミテキサン	100mL ※	点滴	250/H	day1-5
1コースの期間 3-4週間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) 1, ウロミテキサン(メスナ) 通常, 成人にはメスナとして, イフォマイド1日量の20%相当量を1回量とし, 1日3回(イフォマイド投与時, 4時間後, 8時間後)30分かけて点滴静注する。 2, 投与翌日まで2000から3000mlの輸液を行う。 3, 患者の状態に合わせ、イメンドやステロイドなどの制吐療法を併用する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
エトポシド単剤	絨毛性疾患	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ	1袋	点滴	100/H	day 1
②	生食 エトポシド	500ml 60-100mg/m ²	点滴	250/H	day 1-5
③	生食	50ml	点滴	250/H	day 1-5
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
4週間毎			PDまで		

その他(特記事項など)

DEHPを含むポリ塩化ビニル製の点滴セットの使用は避けること。

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
ジェムザール単剤	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注 生理食塩液	6.6mg 100mL	点滴	30分	day1,8,15
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1,8,15
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開フラッシュ	day1,8,15
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
4週(28日)			untilPD		

その他(特記事項など)

必要に応じて5HT3受容体拮抗剤の投与を検討する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
セミプリマブ	がん化学療法後に増悪した進行、又は再発子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	セミプリマブ 生理食塩液100mL	350mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	5分	day1
④					
⑤					
⑥					
1 コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他（特記事項など） インラインフィルター使用					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル+ベバシズマブ	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注1.65mg ポララミン注 生理食塩水	1 A 1 A 50mL	点滴	全開	day1
②	グラニセトロンバッグ	1袋	点滴	30分	day1
③	ドキシル 5%ブドウ糖	40mg/m ² 250mL(※)	点滴	ドキシル1mg/分 で点滴	day1
④	5%ブドウ糖	100mL	点滴	ドキシルと同じ 速度でフラッシュ	day1
⑤	ベバシズマブ 生理食塩液	10 mg/kg 100 mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目以降30分	day1, 15
⑥	生理食塩液	50 mL	点滴	全開	day1, 15
1コースの期間 28日（4週間）			投与スケジュール及び総コース数 6コース、以後Bevのみ継続 ドキシルの総投与量500mg/m ² を超えないこと		
その他（特記事項など） ・ドキシル $\geq$ 90mg/bodyの時は、5%ブドウ糖500mLに溶解し点滴する。 ・点滴ルート内のドキシルが流れきるまでは、全開でのフラッシュは禁。 ・ドキシルはフィルターを通過しないので、使用しないこと。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル+オキサリプラチン併用	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注1.65mg ポララミン注 生理食塩水	1 A 1 A 50mL	点滴	全開	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg (デキサート注6.6mg)	1袋 (1V)	点滴	30分	day1,2 (day2はデキサート追加)
②	5%ブドウ糖溶液 ドキシル	250 ml 35 mg/m ²	点滴	60分※	day1
③	5%ブドウ糖溶液 オキサリプラチン	500mL 70 mg/m ²	点滴	120分	day2
④	5%ブドウ糖溶液	100mL	点滴	ドキシルと 同じ速度で フラッシュ	day1
⑤	生理食塩水	50mL	点滴	フラッシュ	day2
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続 ドキシルの総投与量500mg/m ² を超えないこと		
その他(特記事項など) ・ ※投与量60mg/body>となる場合は、1mg/分にて投与。 ・ インフュージョンリアクションが起こった場合次コースは0.7mg/分にて投与 ・ 点滴ルート内のドキシルが流れきるまでは、全開でのフラッシュは禁。 ・ ドキシルはフィルターを通過しないので、使用しないこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル+エルプラット+エンドキサン併用	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg ポララミン注 生理食塩水	1 V 1 A 50mL	点滴	全開	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1 袋	点滴	30分	day1
②	5%ブドウ糖溶液 ドキシル	250 mL 30 mg/m ²	点滴	60分※	day1
③	5%ブドウ糖溶液 エルプラット	500mL 85 mg/m ²	点滴	120分	day1
④	生理食塩水 シクロフォスファミド	100mL 750 mg/m ²	点滴	25分 (250 ml/h)	day1
⑤	生理食塩水	50 ml	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 3週間(21日)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続 ドキシルの総投与量400mg/m ² を超えないこと		
その他(特記事項など) ・※投与量60mg/body>となるときは、1mg/分にて投与。 ・インフュージョンリアクションが起こった場合次コースは0.7mg/分にて投与 ・ドキシルはフィルターを通過しないので、使用しないこと。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル+カルボプラチン併用	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート ポララミン注 生理食塩水	6.6mg 1 A 50mL	点滴	全開	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	5%ブドウ糖溶液 ドキシル	250ml 30mg/m ²	点滴	60分※	day1
④	生理食塩水 カルボプラチン	250ml AUC5	点滴	60分	day1
⑤	生理食塩水	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day1
1コースの期間 28日毎			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・ドキシルは投与量が60mg/bodyを超える場合は、1mg/分にて投与。 ・インフュージョンリアクションが起こった場合次コースは0.7mg/分にて投与 ・ドキシルの総投与量500mg/m ² を超えないこと ・ドキシルはフィルターを通過しないので、使用しないこと。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル+ゲムシタビン併用	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート1.65mg ポララミン注 生理食塩水	1 A 1 A 50mL	点滴	全開	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1 袋	点滴	30分	day1、8
③	5%ブドウ糖溶液 ドキシル	250 mL 30 mg/m ²	点滴	60分※	day 1
④	生理食塩水 ゲムシタビン	100 mL 1000 mg/m ²	点滴	30分	day1、8
⑤	生理食塩水	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day1、8
1コースの期間 3週間(21日)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続 ドキシルの総投与量500mg/m ² を超えないこと		
その他(特記事項など) ・※投与量60mg/body>となるときは、1mg/分にて投与 ・インフュージョンリアクションが起こった場合、次コースは0.7mg/分にて投与 ・ドキシルはフィルターを通過しないので、使用しないこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル+ハイカムチン（1）	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン1.6mg ポララミン注 生理食塩水	1A 1A 50mL	点滴	全開	day1
②	カイトリルバッグ	1袋	点滴	30分	day1-5
③	5%ブドウ糖溶液 ドキシル	250 mL 40 mg/m ²	点滴	60分※	day 1
④	生理食塩水 ハイカムチン	100 mL 0.75 mg/m ²	点滴	30分	day1-5
⑤	生理食塩水	50 mL	点滴	フラッシュ	day1-5
⑥					
1コースの期間 3週毎（21日）			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続 ドキシルの総投与量500mg/m ² を超えないこと		
その他（特記事項など） ・ ※投与量60mg/body>となるときは、1mg/分にて投与 ・ インフュージョンリアクションが起こった場合、次コースは0.7mg/分にて投与 ・ ドキシルはフィルターを通過しないので、使用しないこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル+ハイカムチン (2)	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン1.6mg ポララミン注 生理食塩水	1 A 1 A 50mL	点滴	全開	day1
②	カイトリルバッグ	1袋	点滴	30分	day1-5
③	5%ブドウ糖溶液 ドキシル	250 mL 30 mg/m ²	点滴	60分※	day 1
④	生理食塩水 ハイカムチン	100 mL 1 mg/m ²	点滴	30分	day1-5
⑤	生理食塩水	50 ml	点滴	フラッシュ	day1-5
⑥					
1コースの期間 3週毎 (21日)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続 ドキシルの総投与量500mg/m ² を超えないこと		
その他 (特記事項など) ・ ※投与量60mg/body>となるときは、1mg/分にて投与 ・ インフュージョンリアクションが起こった場合、次コースは0.7mg/分にて投与 ・ ドキシルはフィルターを通過しないので、使用しないこと。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル+パクリタキセル併用	卵巣がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg ガスター注20mg ポラミン注5mg 生理食塩液	1 V 1 A 1 A 50mL	点滴	全開	day1, 8, 15
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1, 8, 15
側①	5%ブドウ糖溶液 ドキシル	250 mL 30 mg/m ²	点滴	60分※	day8
側②	5%ブドウ糖溶液	100mL	点滴	ドキシルと同じ 速度でフラッシュ	day8
③	生理食塩液 パクリタキセル	250 mL 70 mg/m ²	点滴	60分	day1, 8, 15
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1, 8, 15
1コースの期間 ドキシルは3週毎の2週目に投与。 パクリタキセルは18週連続投与。 3週間(21日)を1コース			投与スケジュール及び総コース数 6コース施行		
その他(特記事項など) <ul style="list-style-type: none"> ・※投与量60mg/body>となる場合は、1mg/分にて投与。 ・インフュージョンリアクションが起こった場合次コースは0.7mg/分にて投与 ・パクリタキセルはPVCフリーの0.22μのフィルター付き点滴ラインを用いて点滴する。 ・ドキシルはフィルターを通過しないので、パクリタキセルのフィルタ下部に側管から投与し、ドキシル投与中、メインルートでの点滴は中断する。 ・ドキシル終了後のフラッシュは全開フラッシュ禁。 					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ドキシル単剤	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート1.65mg ポララミン注 生理食塩水	1A 1A 50mL	点滴	全開	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	ドキシル 5%ブドウ糖	50mg/m ² 250mL(※)	点滴	ドキシル1mg/分 で点滴	day1
④	5%ブドウ糖	100mL	点滴	ドキシルと 同じ速度で フラッシュ	day1
⑤					
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続 ドキシルの総投与量500mg/m ² を超えないこと		
その他(特記事項など) ・ドキシル $\geq$ 90mg/bodyの時は、5%ブドウ糖500mLに溶解し点滴する。 ・点滴ルート内のドキシルが流れきるまでは、全開でのフラッシュは禁。 ・ドキシルはフィルターを通過しないので、使用しないこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ドセタキセル+ゲムシタビン併用療法	子宮癌 卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg デキサート注6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
②	ジェムザール 生理食塩液	800mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	グラニセトロンバッグ3mg デキサート注6.6mg ポララミン注5mg	1袋 1V 1A	点滴	30分	day8
⑤	ドセタキセル 生理食塩液	70mg/m ² 250mL	点滴	60分	day8
⑥	ジェムザール 生理食塩液	800mg/m ² 100mL	点滴	30分	day8
⑦	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day8
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ドセタキセル+ゲムシタビン(分割投与法)	卵巣癌 子宮体癌 子宮肉腫	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	グラニセトロンバッグ3mg デキサート注6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1、8
2	ゲムシタビン 生理食塩液	800mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1、8
3	ドセタキセル 生理食塩液	35mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1、8
4					
5					
6					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			2投1休を1コースとして繰り返す PDまで継続		

その他(特記事項など)

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ネダプラチン単剤	卵巣癌 子宮頸癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン デカドロン6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day 1
②	アクプラ 生理食塩液	80~100mg/m ² 500mL	点滴	90分	day 1
③	ヴィーンD	500mL	点滴	120分	day 1
④	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day 1
⑤					
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ノギテカン+CDDP	子宮頸がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg デキサート注3.3mg アロキシバッグ	1V 2A 1袋	点滴	30分	day1
②	デキサート注6.6mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day2,3
③	ノギテカン 生理食塩液	0.75mg/m ² 100ml	点滴	30分	day1-3
④	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1-3
⑤	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day2,3
⑥	マンニトール	300mL	点滴	60分	day1
⑦	シスプラチン 生理食塩液	50mg/m ² total 500ml	点滴	120分	day1
⑧	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1
⑨	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		
その他(特記事項など) ・day2,3にも輸液を1000mL程度行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ノギテカン+CDDP+bev	子宮頸がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサト注6.6mg デキサト注3.3mg アロキシバッグ	1V 2A 1袋	点滴	30分	day1
②	デキサト注6.6mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day2,3
③	ベバシズマブ 生理食塩液	15mg/kg 100mL	点滴	30-90分	day1
④	ノギテカン 生理食塩液	0.75mg/m ² 100ml	点滴	30分	day1-3
⑤	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1-3
⑥	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day2,3
⑦	マンニトール	300mL	点滴	60分	day1
⑧	シスプラチン 生理食塩液	50mg/m ² total 500ml	点滴	120分	day1
⑨	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1
⑩	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		
その他(特記事項など) ・day2,3にも輸液を1000mL程度行う。 ・ベバシズマブ初回は、90分投与、2回目は60分、3回目以降は30分投与。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ハイカムチン単剤	卵巣癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ	1袋	点滴	200/H	day 1-5
②	生理食塩液 ハイカムチン	100mL 1.5mg/m ²	点滴	200/H	day 1-5
③	ソルデム3A	200mL	点滴	200/H	day 1-5
④					
⑤					
1コースの期間 21日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法	がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	キイトルーダ 生理食塩液100mL	200mg/body (400mg/body) 1瓶	点滴	30分	day1
②	生理食塩液50mL	1瓶	フラッシュ	5分	day1
③	レンビマカプセル	20mg/日			連日投与
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間 21日 (200mg) 42日 (400mg)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・インラインフィルター (0.2~5 μ m) を使用 ・Grade2以上のInfusion Reactionが発現した場合、次回投与時に抗ヒスタミン薬、および解熱鎮痛薬による前投薬を検討					